

津波ハザードマップについて

この津波ハザードマップは、想定される最大クラスの津波（L2津波）による浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表示するとともに、皆さんの避難場所、避難経路を示したものです。

- 地震の規模や震源の位置が想定と異なる場合には、ここで示したよりも大きな津波が発生したり、より早く津波が押し寄せる可能性があります。
- 自分の身を守るためにも、今回示した浸水域にとらわれず、高台への避難を心がけてください。

L2津波とは（想定される最大クラスの津波）

「津波浸水想定」において、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波です。

※「津波浸水想定」は、茨城県が平成24年8月に策定したものです。

津波から身を守る心得

津波は地震発生に伴い、突発的に襲ってくるため、どのような行動が必要かを知っておくことは、自分や家族の命を守るためにも非常に大切なことです。

日頃から「津波に対する心構え」を持ち、津波による被害から身を守りましょう。

- 1 海岸や河川敷にいて、強い地震や長い地震（1分間以上）の揺れを感じたら、すぐに避難しましょう。
- 2 テレビやラジオの情報をもとに、すぐに避難しましょう。
- 3 消防・警察からの指示や、市の防災無線・広報車による避難勧告や指示があったら、すぐに避難しましょう。
- 4 海岸や河川敷から離れて、出来るだけ山側へ避難しましょう。あるいは、より高い場所（鉄筋コンクリート等の頑丈な建物）へ避難しましょう。
- 5 自動車は出来るだけやめて、歩いて避難しましょう。
- 6 津波は、繰り返し襲ってくるので、津波警報や注意報が解除されるまで海岸や河川敷に近づかないようにしましょう。
- 7 正しい情報をテレビ、ラジオ、防災無線、広報車などを通じて入手して、冷静に行動しましょう。



日頃からの備えが大事

日頃から自分が住んでいるところの地形をよく確認するとともに、家族で避難場所・避難所の確認、避難ルートなどについて話し合い、決めておくことが大事です。

また、日頃から地域の皆さんと声を掛け合っておくとともに、いざという時にも、助け合いながら避難をしましょう。



津波に関する用語

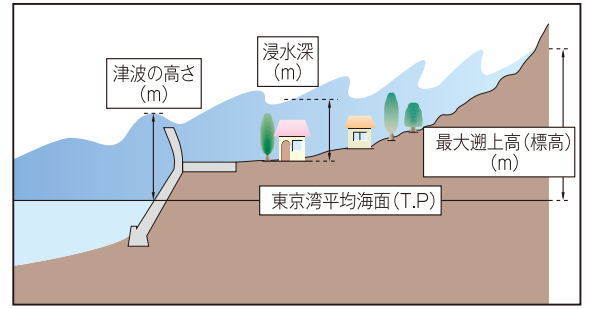
津波の高さ 海岸での津波の高さを言います。

遡上高(そじょうこう) 津波が陸上へ進入し、かけ上がる高さで、津波の高さの2倍から4倍の高さまで達することがあります。

浸水深 陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さです。

津波影響開始時間 地震発生から、津波により海岸・海中の人命、漁船等に影響の出る恐れのある水位変化が生じるまでの時間です。

津波到達時間 地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。



津波の特徴

津波は引きから始まるとは限らない

「津波が来る前に潮が引くので、潮が引いたら逃げろ」とよく言われますが、間違いです。津波には最初に潮が引く「引き」で始まるものと、いきなり「押し」で始まるものがあります。

津波は繰り返しておそってくる

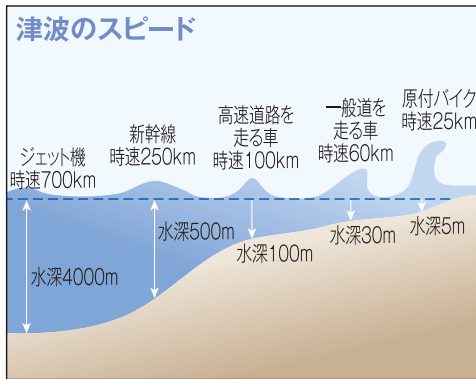
第1波をやり過ごせても、第2波以降もっと大きな津波となることもあり、それ以降の津波にのまれる可能性もあります。

津波はすばやい

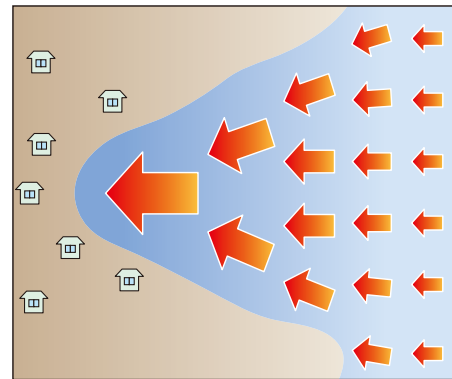
津波は沖合の海域でジェット機なみ、海岸付近でも新幹線なみの速度で押し寄せてきます。港や海岸に確かめに行くことは絶対にやめましょう。

津波の破壊力はすさまじい

津波は沿岸での津波の高さが1mでも、その数倍の高さまで陸上を駆け上がることがあります。木造家屋では、浸水深2m程度でほぼ全壊、1m程度で半壊となります。



沖では時速約700kmの速さで、岸に近づいても新幹線なみの時速約250km（1秒間に70m進む速さ）で押し寄せてきます。



入り組んだ海岸では波が集まり、波高が急激に高くなったりします。

津波警報と注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。 ただちに海岸や川沿いから離れ、避難場所が高台など安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 ただちに海岸や川沿いから離れ、避難場所が高台など安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中にいる人は速い流れに巻き込まれ、また、小型船舶が転覆します。 ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

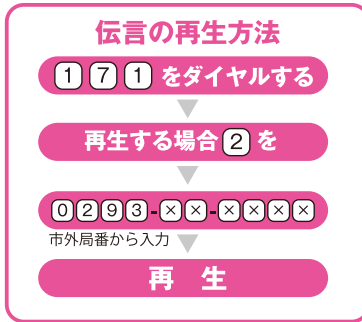
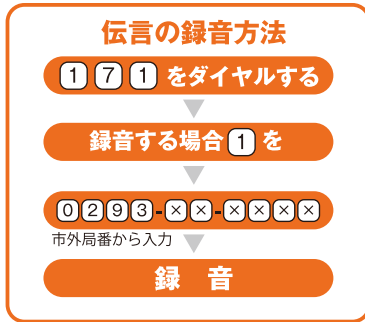
災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171)

災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171)とは

地震等によって大災害が発生した時には、全国から被災地への電話が増加し、つながりにくくなります。

このような場合に声の伝言板「災害用伝言ダイヤル」およびインターネットを利用した伝言板「災害用伝言板(web171)」のサービスが開始され、被災地内やその他の地域の人々との間で安否情報を録音・再生、登録・確認することができます。

災害用伝言ダイヤルのご利用方法



災害用伝言板(web171)のご利用方法



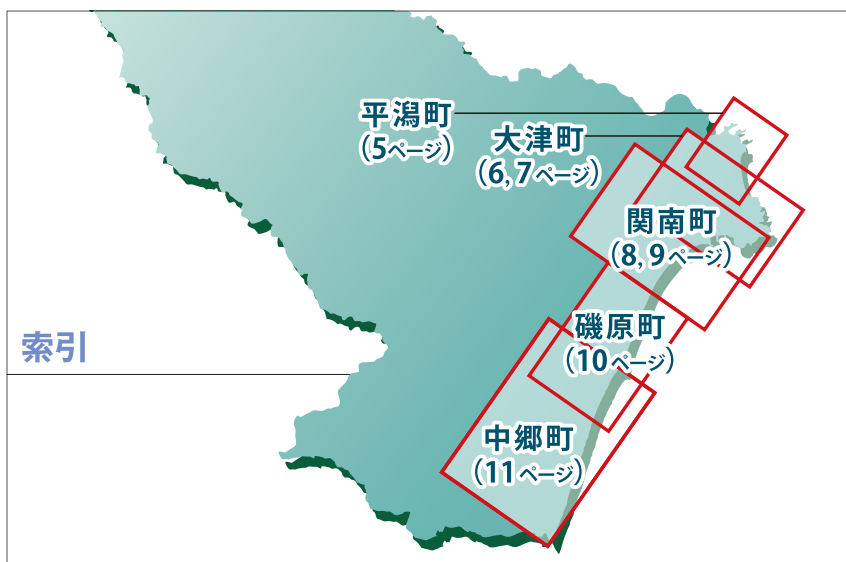
携帯電話・PHSの「災害用伝言板」サービス

大規模な震災が発生した場合には、携帯電話・PHSを利用して自身の安否情報を登録したり、家族や友人の安否情報を確認することができます。

それぞれの携帯電話・PHSの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。登録された伝言は、インターネットが利用できるパソコンや携帯電話・PHSからも、下記のアドレスより確認することができます。

NTTドコモ http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi	イーモバイル http://dengon.emnet.ne.jp/
au http://dengon.ezweb.ne.jp/	ウィルコム http://dengon.willcom.com
SoftBank http://dengon.softbank.ne.jp/J	

私の家の避難場所		家族の集合場所
家族の名前	生年月日	会社などの連絡先
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	



防災無線自動応答サービス

0293-43-3110

防災無線の屋外スピーカーで放送している内容を、電話で確認することができます。

茨城県防災情報メール

茨城県では、防災に関する情報を電子メールで配信しています。QRコードを読み取って、サイトにアクセスし、メール配信の設定を行ってください。



ラジオ局周波数 (AM放送)

NHK第1放送…… 594kHz
茨城放送……1197kHz